農業情報（令和３年２月号）

地域	報告内容	写真等	とき ところ
尾張	**令和３年産「なつきらり」栽培面積は約３倍に拡大** 令和３年産「なつきらり（愛知123号）」は、５経営体で約8.5ha栽培することとなり、５経営体で約2.7haだった２年産と比較して約３倍に拡大しました。令和２年産の米価が下がったため、各経営体は良食味米生産により経営改善を図る意向です。 農業改良普及課では、各地域協議会とともに「愛ひとつぶ」の基準を満たすよう施肥設計や栽培指導に取り組む予定です。	 地域協議会検討会の様子	令和２年12月 から令和３年１月 尾張地域
尾張	**尾張地域の有機農業に関する情報交換会を開催** 農業改良普及課は、管内有機農業者（７名）及び関係者の情報交換を図るため、「尾張地域有機農業に関する情報交換会」を開催しました。本会は「あいち有機農業推進ネットワーク」の協力を得て平成27年度から続いているもので、今回は、緊急事態宣言の発出によりウェブ開催となりました。当日は、午前中から参加者との接続テストを実施し、接続可能となった農家７名と市町関係者等12名が参加しました。 内容は、県農業経営課から次年度事業及び東海農政局からの提供資料の説明後、岐阜県白川町の有機農業者高谷裕一郎氏を講師に「有機育苗の方法」について講演を行いました。講師への質疑応答はオンラインとチャット機能を使いスムーズに行うことができ、参加者からは好評でした。	写真等なし	令和３年２月１日 オンライン
海部	**ローソンでＪＡあいち海部産「ゆめのか」のスイーツを販売** ＪＡあいち海部はローソンとコラボし、平成31年２月から管内のイチゴ「ゆめのか」を使ったスイーツ「ゆめのか苺のサンド」、「いちごのミルクプリン」などを売り出してきました。令和３年２月からは、有名洋菓子店「シェ・シバタ」監修の「苺のティラミス」（写真左）、「苺のミルクレープ」（写真右上）、「いちごチョコパイ」（写真右下）が２月16日から３月22日まで、中部エリアのローソンで販売されました。この取組は、「ゆめのか」を多くの人に味わってもらいたいとの思いで始まっていて、毎年、好評を得ています。	 「ゆめのか」使用の スイーツ	令和３年２月16日 ＪＡあいち海部

地域	報告内容	写真等	とき ところ
知多	**イチジク新規栽培者説明会が開催される** イチジク新規栽培希望者説明会が開催され、７名と１組が参加しました。農協担当者が部会加入の必要性と部会概要を説明した後に、定植までに必要となる栽培管理を説明するＤＶＤが上映されました。農業改良普及課は、「農業を始めるに当たっての心がまえ」「就農支援にかかる制度」、「イチジク栽培にかかる経費」などの説明を行いました。 説明会終了後、関心が高い新規栽培希望者は、農協担当者と農地の確認や苗木の確保について打合せを行うなど、有意義な説明会となりました。	 熱心に聞きいる新規栽培者希望者	令和３年１月26日 ＪＡあいち知多事業本部 ＡＶ会議室
知多	**東海市で「夕焼け姫」の苗木植え付け講習会を開催** 東海市果樹振興会ではマルチ栽培夕焼け姫部会が発足し、カンキツ「夕焼け姫」の産地化を目指しています。 苗木の配布に先立って、植え付け講習会が開催され、多くの部会員が参加しました。農業改良普及課からは、マルチ栽培を想定して、高うね、列植えで植えるよう呼びかけを行いました。 今後の部会活動として圃場巡回等を予定しており、幼木管理を支援し、早期成園化を目指します。	 苗木植え付け実演の様子	令和３年２月17日 東海市 「夕焼け姫」試験ほ場
西三河	**(有)赤堀製茶場がテイクアウトメインの新店舗をオープン！** 西尾市のお茶農家・赤堀夫妻が、イートイン可能な直売店をリニューアルオープンさせました。今までの抹茶の販売に加え、抹茶ドリンクやパフェなどのスイーツも味わえるようなりました。店舗は茶畑に面しており、外で茶園を眺めながら食べることもできます。 (有)赤堀製茶場は個人では珍しく抹茶の加工場を持ち、農薬を使わないなど、こだわりの茶栽培に取り組んでいます。 お茶の栽培やキッチンカー、新店舗と、日々抹茶の消費拡大に奔走しています。	 テイクアウトメインのイートイン可能な直売所	令和３年１月６日 西尾市

地域	報告内容	写真等	とき ところ
西三河	**第50回西尾鉢物出荷組合定期総会を開催** 西尾鉢物出荷組合が第50回定期総会を開催しました。今年は取引市場等の担当者の出席は見送られ、組合員間の席も十分距離をとったうえで行われました。事業報告では、コロナ禍により市場での商談会が大きく減少した中、リモートによる商談会等、新たな取組が報告されたました。令和３・４年度の新組合長には、洋らん部会の内藤雅拓氏が選任されました。新組合長あいさつでは、令和３年度の目標としてリモートによる販売促進活動の強化や販売金額の増加が掲げられました。	 新組合長あいさつの様子	令和３年２月９日 ＪＡ西三河本店
豊田加茂	**集落住民が獣害対策を検討する** 豊田市稲武地域の大野瀬町梨野集落は、集落を囲む大規模侵入防止柵を設置し定期的に点検も行っていますが、野生獣の侵入が発生して農作物の被害が後を絶ちませんでした。このため、農業改良普及課は、広域指導室と連携して集落を訪問し、現地踏査を行うとともに集落住民と集落内の被害状況を話し合い、侵入経路を確認して対策を講じることになりました。 話し合いの後、集落住民や広域指導室と連携して、侵入が予想される箇所にトレイルカメラを設置し、野生獣の侵入経路を特定する活動を始めました。	 侵入経路について話し合う集落住民たち	令和３年１月28日 梨野集落（旧稲武町）
新城設楽	**ＪＡ愛知東トマト部会、日本農業賞の大賞受賞** トマト部会の日本農業賞中央審査会がＷｅｂ会議形式で開催されました。９月８日の県審査の結果を受け県代表として中央審査会に挑みました。部会長挨拶、支部長によるプレゼンの後、11名の審査員が各の席から電子会議形式で質疑を行い、トマト部会員４名と新城市、公社、ＪＡ、農業改良普及課で対応しました。役員２名の他、若手ココバッグ栽培者のI氏や、ベテラン農家0氏が審査員からの質問に回答しました。その結果、「新規参入者の受け入れによる産地の若返り、低コストな養液栽培システムの普及および夏秋作向け養液管理技術確立、中山間地域で新たな雇用を生み出したこと、品種統一によるブランド化」などの取組みが高く評価され、大賞受賞に繋がりました。	 WEB会議による中央審査の状況	令和３年１月10日 ＪＡ愛知東新城本店 会議室（新城市）

地域	報告内容	写真等	とき ところ
東三河	**スマート農業実証プロジェクトの次年度検討会の開催** 豊川市のスプレーギクにおけるスマート農業実証プロジェクトの次年度検討会が開催されました。実証農家４戸をはじめ農研機構、専門ＰＯ、ＪＡひまわり、農業総合試験場、農業改良普及課が参加しました。 検討会では農家と農業改良普及課から次年度の取組方針を説明し、実証内容や事業の目的、懸念事項等について検討を行いました。農家からも積極的に意見や質問がなされ、活発な意見交換となりました。 今年度は作付計画・雇用管理・環境制御の技術において個別での実証に留まりましたが、次年度は一貫体系での実証を目指します。	 次年度検討会の様子	令和３年１月27日 ＪＡひまわり 中部営農センター
田原	**加工・業務用キャベツの品種審査会が開催される** ＪＡ愛知みなみ常春部会てつコン倶楽部は、平成19年から大型鉄製コンテナを利用した加工・業務用キャベツの栽培に取り組んでいますが、厳寒期の低温、乾燥等によりキャベツの生育が停滞し、契約数量を確保するのに四苦八苦することが多くありました。この状況を改善するため、農業改良普及課は、組織として有望な品種選定活動に取り組むよう誘導し、愛知県野菜種苗協議会野菜優良品種選定拠点調査ほを実施しました。１月15日には審査会が開催され、肥大性に優れた品種もみられ、終了後に倶楽部員から「来年〇番の品種を作ってみたい」などの前向きな意見が出されました。	 審査会（立毛審査）風景	令和３年１月15日 田原市

Copyright (C) 2021, Aichi Prefecture. All Rights Reserved.
「ネット農業あいち」（https://www.pref.aichi.jp/nogyo-keiei/nogyo-aichi/index.html）